

H26年神戸管内海難発生状況

神戸海上保安部航行安全課 H27.1.26

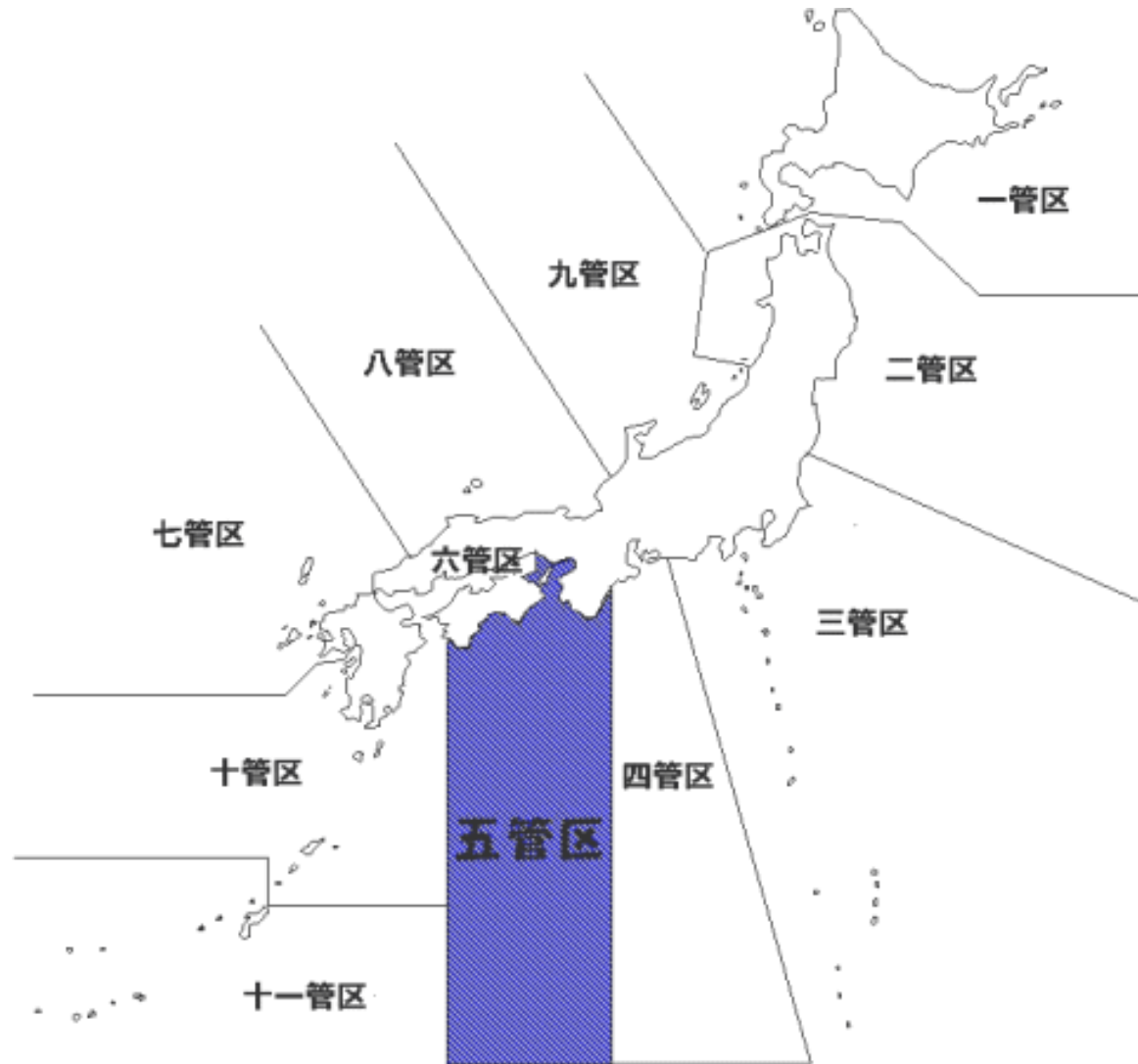
○H26年第五管区管内海難発生状況

(速報値)

・第五管区

(大阪府、兵庫県(一部第八管区)、和歌山県、徳島県、高知県)

第五管区海上保安本部の担任区域



海上保安庁は、日本を11の管区に分けています。

海難発生状況(第五管区)

26年は速報値

	海難船舶隻数	船舶海難による死者・行方不明者
第五管区 (大阪府、兵庫県(一部は第八管区)、和歌山県、徳島県、高知県)	244隻(26年) 284隻(25年)	13人(26年) 7人(25年)

平成26年、五管区内で発生した海難船舶の隻数は、244隻、船舶海難による死者・行方不明者は13人となっています。昨年と比べると、隻数では-40隻、海難により亡くなった方や行方不明となった方は+6人です。

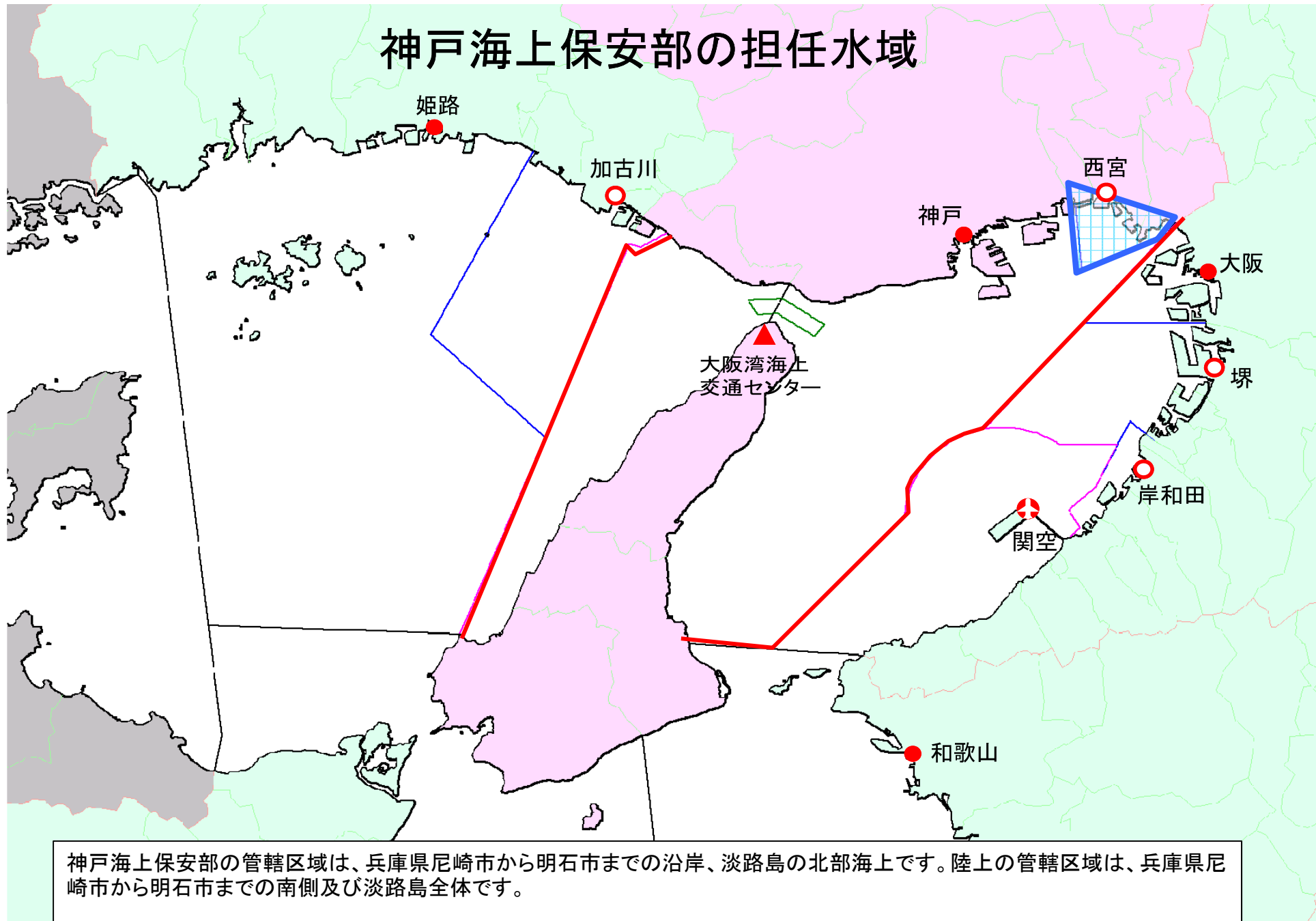
○H26年神戸管内海難発生状況

(速報値)

・神戸管内

(神戸海上保安部・西宮海上保安署)

神戸海上保安部の担任水域



神戸海上保安部の管轄区域は、兵庫県尼崎市から明石市までの沿岸、淡路島の北部海上です。陸上の管轄区域は、兵庫県尼崎市から明石市までの南側及び淡路島全体です。

海難発生状況(神戸管内)

26年は速報値

	海難船舶隻数	船舶海難による死者・行方不明者
神戸管内 (神戸海上保安部、西宮海上保安署)	74隻(26年) 80隻(25年)	0人(26年) 1人(25年)

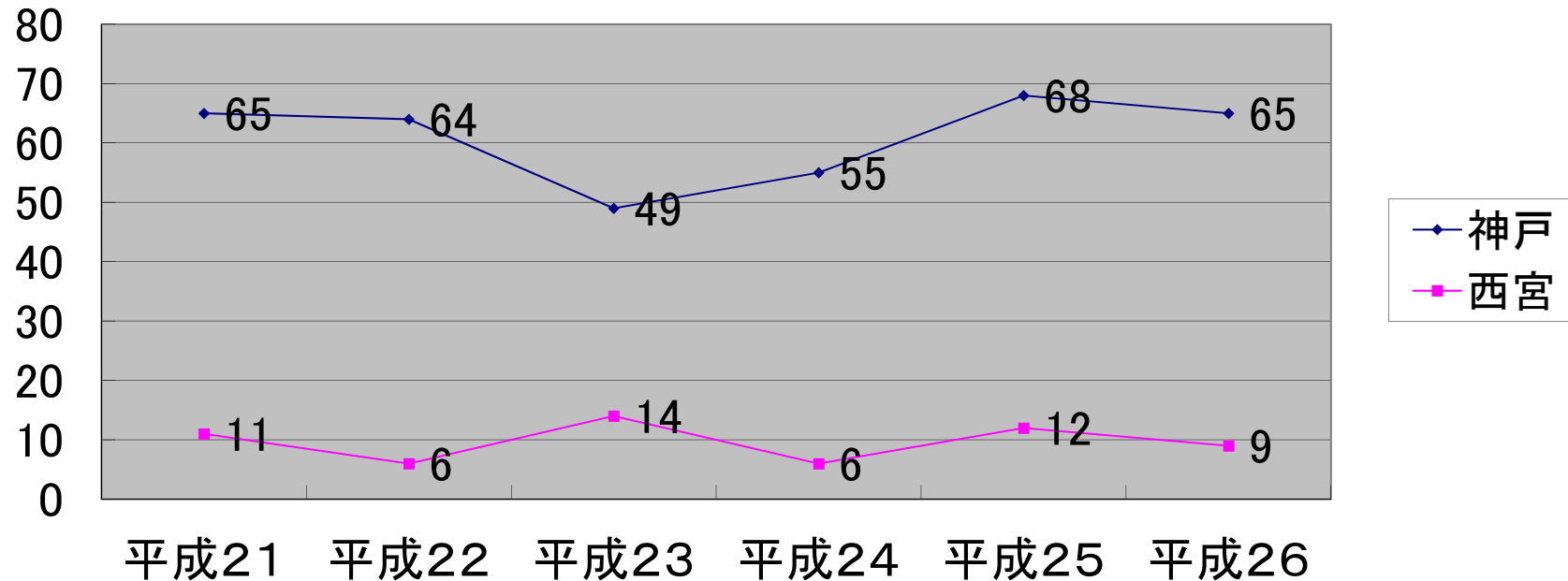
神戸、西宮の2部署が担当する神戸管内の海域で発生した海難船舶の隻数は、74隻で、船舶海難による死者・行方不明者はありませんでした。昨年と比べると、隻数では-6隻です。

神戸管内各部署別 海難隻数

(速報値)

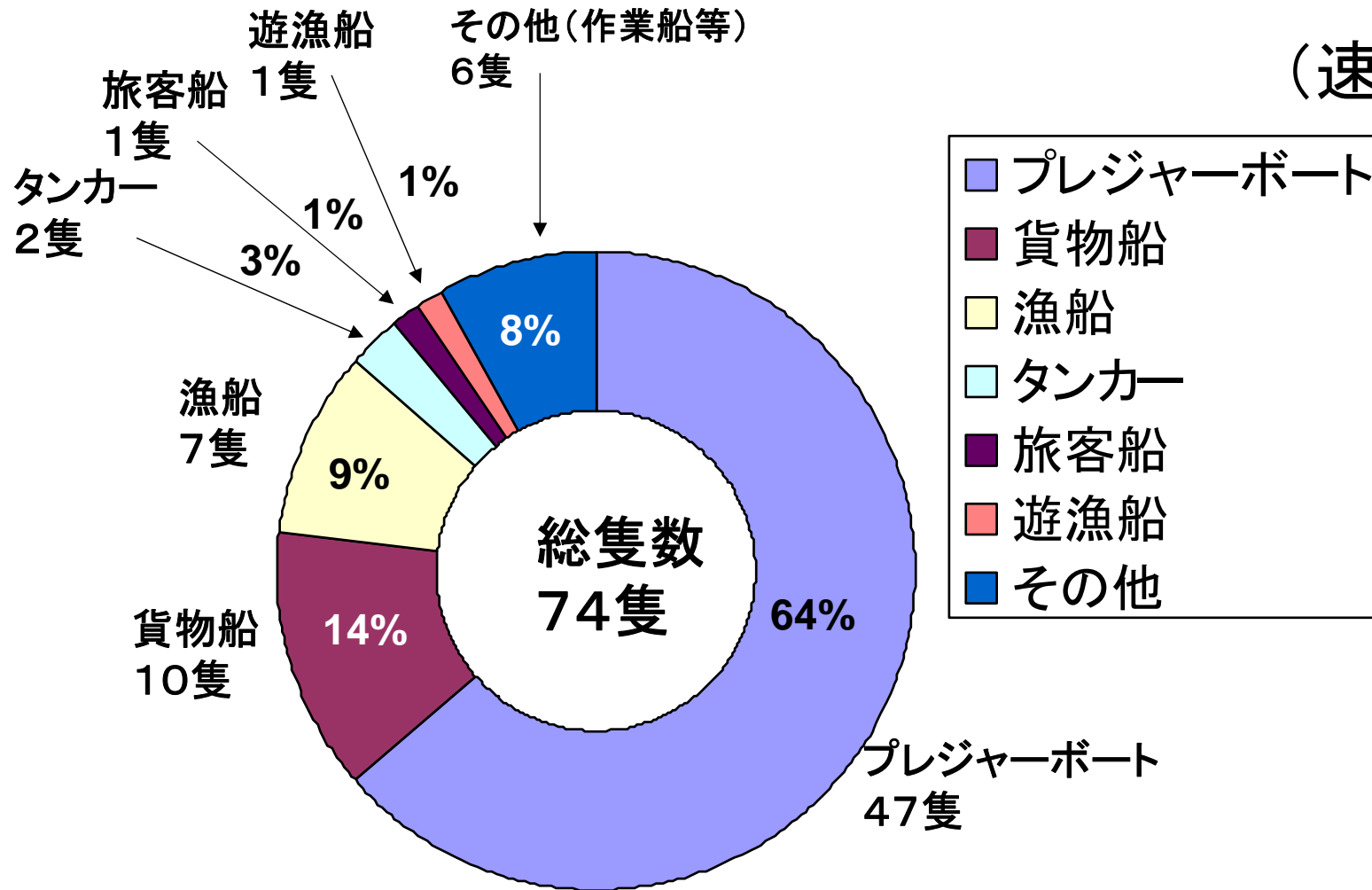
過去6年間の部署ごとの海難発生件隻数は下記グラフのとおりで、平成26年は、

- ・神戸では、平成25年の68隻から65隻 3隻減少
- ・西宮では、12隻から9隻 3隻の減少



神戸管内「船種別」海難隻数

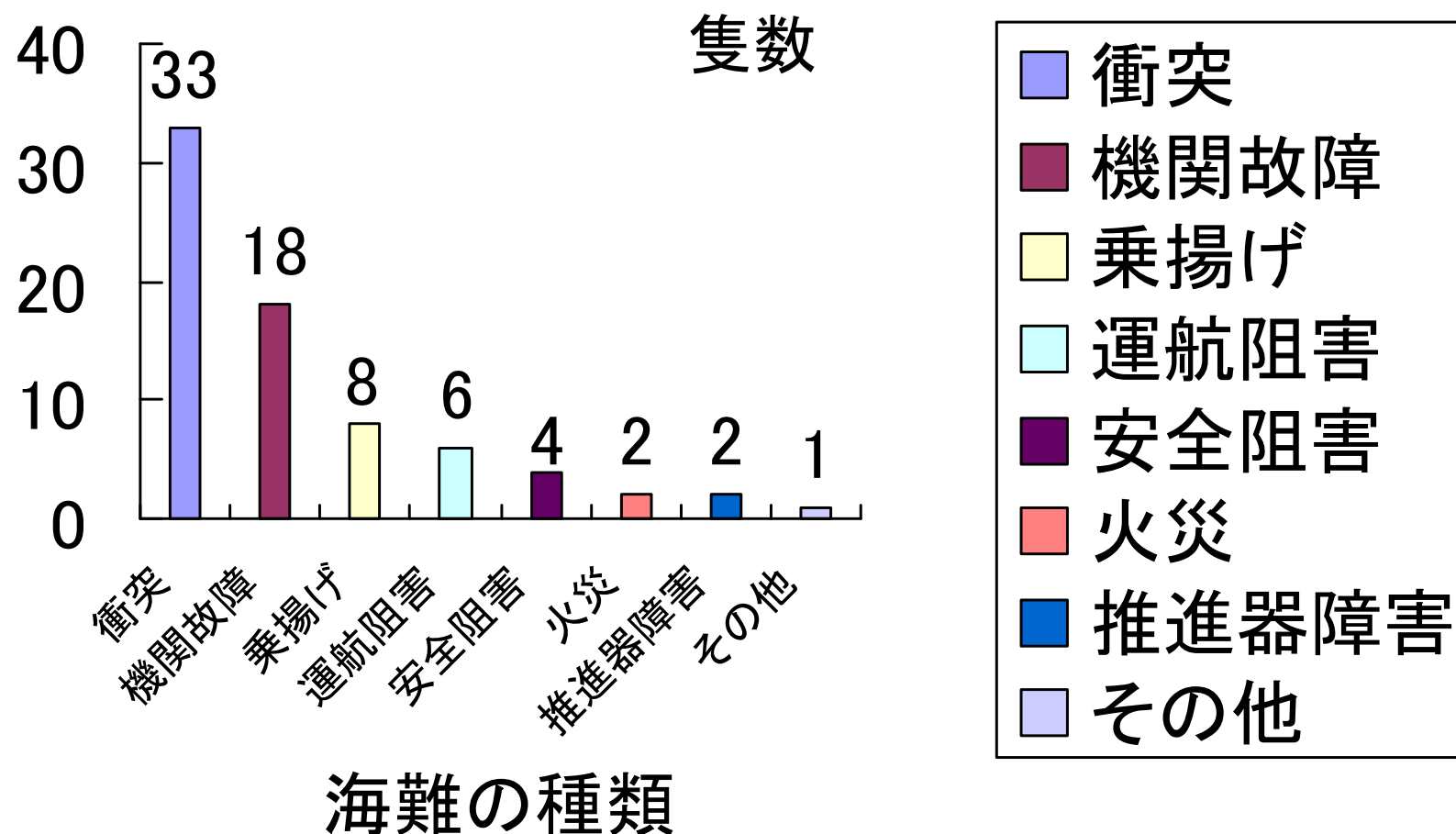
(速報値)



海難船舶は74隻で、前年(80隻)と比較すると6隻減少しています。

神戸管内「海難の種類別」隻

(速報値)

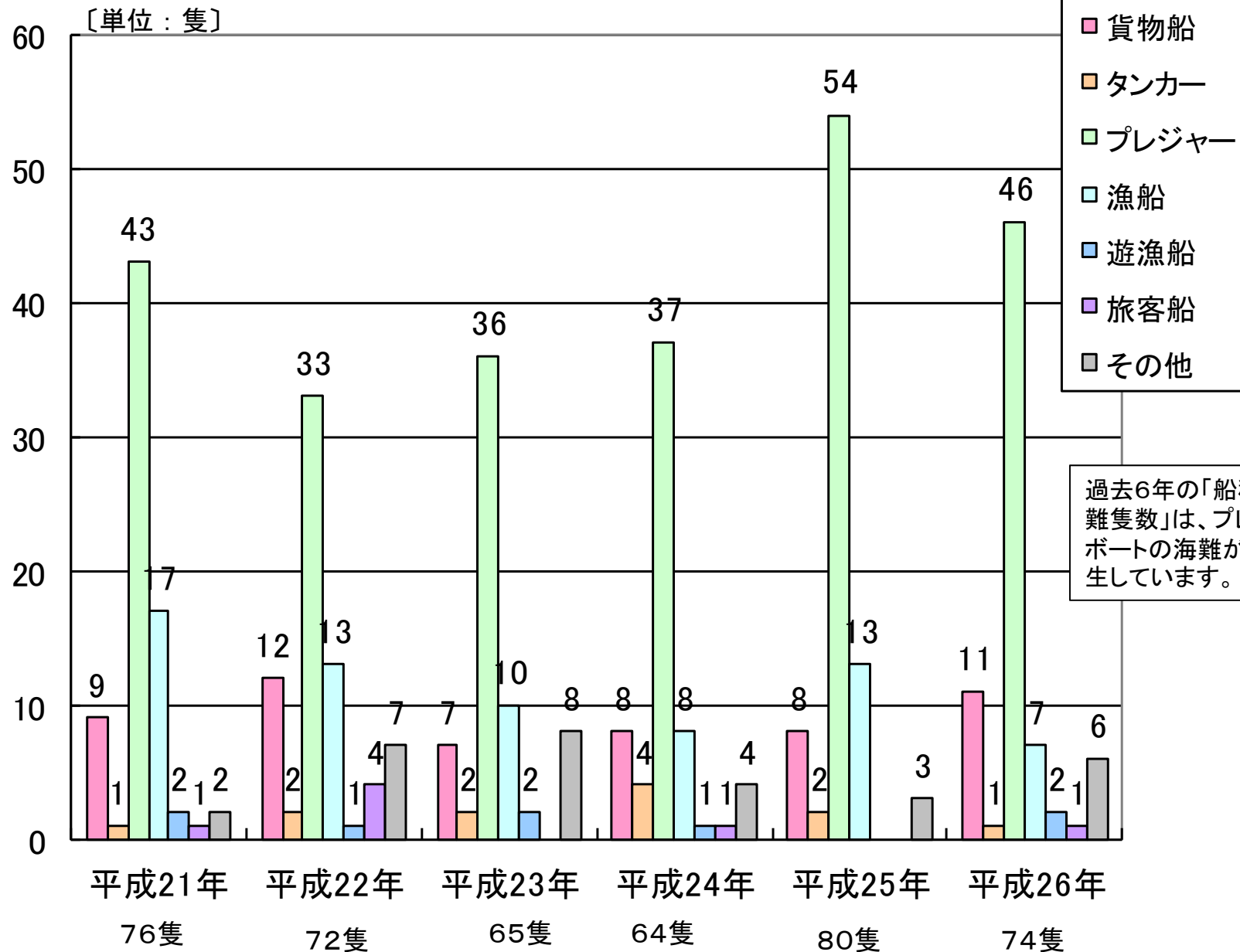


「海難の種類別」を見ると、衝突が33隻ともっとも多く、次に機関故障18隻、続いて乗揚げ8隻となっています。

運航阻害とは、バッテリー過放電、燃料欠乏、ろ・かい喪失及び無人漂流による海難をいいます。

安全阻害とは、転覆に至らない船体の傾斜、走錨及び荒天難航をいいます。

過去6年 神戸管内の海難発生状況(隻数・船種別)



過去6年の「船種別海難隻数」は、プレジャーボートの海難が多く発生しています。

過去6年 神戸管内の海難発生状況(海難種別)

